

志学 長野県塩尻志学館
同窓会会報

第 27 号
平成 28 年 10 月 1 日

発行人 塩尻志学館 高校 同窓会長 中野重則
印刷所 尚クマガイ印刷

同窓会活動の

活性化を目指して

同窓会長 中野 重則



塩尻志学館高等学校同窓会の皆さん、同窓会報第27号の発行に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、5月29日に開催された平成28年度同窓会定期総会の役員改選におきまして、同窓会長という大役に選任されました昭和40年3月卒業の「中野重則」と申します。

5期10年に巨り会長を務められ、特に平成23年には創立100周年記念事業の実行委員長として事業を完遂された小松千万蔵会長の後任として、その任を拝命したところであり、私自身の同窓会との係わりは、100周年記念事業において副実行委

員長として、主に同窓会館の建設を担当させていただき、多くの皆様からの寄付金等を財源として建立することが出来ました。改めて御礼を申し上げます。

塩尻志学館高等学校は、明治44年4月「東筑摩郡立南部乙種農業学校」として開講以来幾多の校名改称や校舎の移転、更には学科改変等々様々な沿革を経て現在に至っております。

そして、総合学科に移行して17年目を迎える本年4月には特別教室棟が竣工となり、総合学科として地域や社会が求める人材の育成にふさわしい教育環境が整備されました。

さて、同窓会の事業活動であります。本号7ページの事業計画に基づき進め参りますが、中でも支部組織の強化は今後の同窓会活動において重要な課題であります。このような中、去る8月26日には「塩尻市役所支部」が新たに

組織されました。今後の活動に多に期待するところであります。本年創立105周年を数える長い時間の中で、卒業生がそれぞれの時代背景の中で様々な努力と経験を積み重ね輝かしい伝統を築きあげて参りました。

「会員相互の向上と親睦を図り、母校発展に寄与する」という同窓会の目的に沿って執行部一丸となって母校発展のために取り組んで参りますので引き続きご理解を賜り、力強いご支援とご協力を切にお願い申し上げます。また、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし会長就任の挨拶とさせていただきます。

主体的な

学びを目指して

学校長 市村 勝巳



同窓会の皆様には、日頃から母校の教育活動に対し、深いご理解と多大なご支援をいただき感謝申し上げます。

本年度は本校にとって大きな画

期となりました。それは、この桔梗ヶ原の地に学校を移転した昭和37年以来、半世紀以上にわたり生徒を育ててきた二つの本校舎のうち、第二棟が改築されたことです。今年度入学した志学館17期生を新しい学び舎に迎えることができました。これも同窓生の皆様のご尽力によるものであり、深く感謝申し上げます。

平成6年「第三の学科」として産声を上げた総合学科高校は、全国に360校ほどが配置されてきました。本校は平成12年に開校し総合学科の理念である、「将来の職業選択を視野に入れた、自己の進路への自覚を深めさせる学び」や「生徒の主体的な学習を通して、生涯にわたって継続的に学習する意欲や態度を育成すること」を大切にする支援体制の充実に努めてまいりました。現在、文科省は、高大接続改革に着手してきておりますが、社会の動きに注視しながら、今後も地域に根ざし、地域に愛される学校づくりに向け誠心誠意努力して参る所存であります。塩尻志学館高等学校創立から今日までの数々のご協力とご支援に感謝するとともに、同窓会員の皆様との益々のご健勝と、本会のさらなるご発展をご祈念申し上げます。



退任にあたり感謝の心で 100 周年回顧

小松 千万蔵

本年 5 月 29 日開催の定期総会において同窓会長を退任させていただきました。

思えば笠原前会長を補佐し 2 期 4 年副会長として務めさせていただき、その後 5 期 10 年会長として会員皆様のご協力をいただき、職務を全うすることが出来ました。特に前半 6 年間は 100 周年記念事業の準備に奔走する毎日でした。実行委員会を立ち上げるまでの規約づくりや、役員体制の確立など、特に 70 周年記念事業で建設した同窓会館が老朽化し建替えるため早急に処分方法を詰め、新たな土地に同窓会館を建設する方策について検討が始められました。

100 周年記念事業から 4 年 5 か月前の定期総会で実行委員会を設置し、同窓会長の私が実行委員長に就くこととなりました。実行委員会に総務・募金・会館等建設・記念誌・式典の五部門を設置し、委員約百名の皆さんに担当していただきました。各部門の検討結果から総額一億二千万円の事業費で記念事業を行うことを 3 年 5 か月前の定期総会で承認をい

ただき、事業の具体化に向けて動きました。すでに旧同窓会館の売却先は決定し、新たな土地は学校の敷地内とするため、県教育委員会との折衝や、同窓会館の設計入札など、一方募金額八千万円と決定し同窓会 46 支部長に依頼文書を直接お願いや、企業への募金依頼など、役員の皆さまの積極的協力があったり募金総額七千四百万円となりました。記念事業は出来ただけ節約し、億八千万円で事業すべてが終了し、特別積立金として六百万円を次なる周年事業に特別積立として 50 回を超えられた。記念誌部会では 50 回を超える編集委員会を行い、献身的な協力により「とよみくる」が発刊出来ました。ことに心より感謝を申し上げます。

同窓会員一人ひとりの熱意と協力があつたこと心より改めて感謝し、副会長より 14 年間お世話になった同窓会員・PTA・歴代の校長先生はじめ教職員の方々に感謝し、退任のあいさつと致します。

副会長が改選されました



小野 隆

この度、伝統ある塩尻志学館高等学校同窓会の副会長を仰せつかりました。諸先輩方がいらつしやる中、若輩者ではありますが新しい風が吹き込めたいと思っております。

さて、私なりに頑張りたい同窓会活動は、地域ごとの支部活動で



有賀 澄子

「朝日よし、桔梗ヶ原より」久しぶりの声に出しての校歌でした。5 月 29 日の総会で副会長に選任された折の事です。

卒業後 45 年にもなるのに、自然と声になり、会場の皆様と共に歌えたことは感激でした。

7 月 9 日、10 日と文化祭で母校に伺いました。新しい校舎・中

す。かなり支部ごとで温度差が感じられます。支部の細分化を進め、よりきめ細かな活動ができるよう支援していきたいと思っております。また、卒業年度毎の同窓会についても各ルーム長等に連絡をとり、開催を導きたいと思っております。以上の縦のつながり、横のつながりを大事にし活動してまいります。

100 余年という長きにわたる伝統を守りつつ、同窓会が新たな発展をするよう任期を全うしたいと思います。皆様方のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

庭・同窓会館と、とても新鮮で、生徒さん達も先生方も明るく、いきいきとされていたのが印象的でした。

久しく母校とかかわることのないまま年を重ねてきましたが、60 歳を超えて、このような役をいただく、今は前向きにかかわってゆこうと思っております。

同窓会の方々とますます親睦を図り、母校発展の一助になれば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

『定期総会』開催

5月29日(上) 中信会館ベルヴィホールにおいて、定期総会が開催され、平成27年度事業報告・決算報告及び平成28年度事業計画並びに予算計画・役員改選が満場一致で承認されました。

任期満了に伴う役員改選では、5期10年間務められた小松千万蔵会長が退任し、中野重則副会長が新会長に選任されました。



また、今まで2期4年務められた米窪彰子副会長が退任し、新たに小野隆氏(54年卒)・有賀澄子氏(49年卒)の両名が副会長として選任されました。

引き続き、同校、少林寺拳法部による模範演武が行われ、日々の修練が感じられ、すばらしい見事な披露でした。
その後の懇親会は、出席者全員で楽しいひと時を過ごし、終わりに校歌を斉唱し閉会しました。

高等学校同窓会定期総会



前会長に感謝状

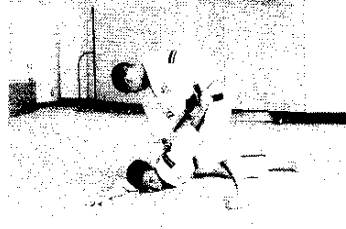


少林寺拳法部による模範演武

長野県塩尻志学館高等学校同窓会定期総会



退任役員挨拶



校歌斉唱



「桔梗会」同窓会コーナー

7月9日、10日の母校文化祭に合わせ100周年記念棟「桔梗会館」に同窓会コーナーが設けられました。

出展されました皆様に感謝申し上げますと共に、次年度もお仲間をお誘いいただき多くの皆様の作品を展示できますようご協力をお願い致します。

今年度は新たな試みとして、市民タイムス紙に「市民の広場。私の作品。」として一部の作品を掲載していただきました。

展示の2日間には大勢の皆様にご来場いただきありがとうございます。歓談しながら情報交換できたのも桔梗祭の成果かと思えます。



「マレットゴルフ大会」

昨年度の同窓会親睦スポーツ大会は、9月4日に「親睦ゴルフ大会」(第26号に掲載)、10月8日に「親睦マレットゴルフ大会」、同25日に「支部対抗ソフトバレーボール大会」がありました。今回は「マレットゴルフ大会」を紹介いたします。

参加26名で「アステイカたおか」マレットゴルフ場にて開催。優勝者は61打という驚異的なスコアでしたが、平均は80打台という和気あいあいの大会でした。表彰及び懇親会では、母校の桔梗ワインやワインカステラ等の賞品が用意され、大いに盛り上がりました。

マレットゴルフ大会の参加者は、平成26年の第1回大会が22名、第2回大会が26名の参加でした。そしてこの会報が届く頃、第3回大会は30名を越す人気の大会になっていると思われれます。



支部活動報告

原新田支部

支部長 林 孝信

原新田支部は100周年事業に合わせ、休眼中だった組織を役員変更の後再スタートさせました。記念事業終了後には広丘支部原新田分会から原新田支部へと昇格させていただきました。

定期総会にて承認された本会止副会長全員にご参加いただき6月に支部総会も開催できました。

原新田支部は二百数十名の会員数ですが、本会の現会長・現理事・現事務局、元会長・元女性部長と要職を多数輩出している支部



でもありません。

支部活動の目玉は原新田マレットゴルフ部長でもある副支部長のリーダーシップの元に行われる春秋年2回のマレットゴルフ大会と懇親会です。この会報がお手元に届く頃には第10回記念大会を開催している予定です。また、昨年開催された本会のマレットゴルフ大会には支部より4名の参加をいたしました。10回ともなると参加メンバーが固定化して来ている感が否めません。次の大会には「一人が一人に声をかけ連れて来る」を実践し参加人数を増やす工夫をしています。懇親会では桔梗祭にて購入した「桔梗ワイン」で乾杯をします。懇親会会場は公民館にし、参加料金は千円から二千円の低価格に抑えています。その上懇親会



の最後には「お楽しみくじ引き」もあり和気あいあいと楽しんでます。みんな笑顔の記念写真も届け楽しい時間を思い出してもらっています。

塩尻市役所支部

支部長 赤羽 誠治

創立から100年を越え輝かしい歴史と伝統を有した塩尻志学館高等学校の卒業生は、社会の変化に主体的に対応できることを学び、県内外で多方面にわたり幅広く活躍されています。

塩尻市役所におきましても、現在にいたるまで多くの卒業生が在職し、地域の発展のため頑張っております。

この度、母校の発展に寄与するとともに市役所内同窓生の親睦と交流のため、各方面から要望がありました塩尻市役所支部が、会員102人の構成により発足しました。

8月26日には、中野重則同窓会長らをお招きし、第1回支部総会を開催しました。支部としての目的と今後の活動等を報告し、会員相互の同結と母校の発展に寄与することを誓い合いました。

また、既に地区支部の会員と



ついでに職員は、退会することなく、継続して活動することも確認しました。

このように、同窓会組織の仲間入りに伴い、同窓会本部をはじめ各地区支部会員の皆様にご支援とご協力をお願いし支部発足の報告とします。

❖ 平成 27 年度 塩尻志学館高等学校同窓会事業報告 ❖

- 4月 4日(土) 入学式
- 4月 7日(火) 塩尻東支部役員会
- 4月10日(金) 教職員歓迎会
- 4月16日(木) 桔梗塾会計監査/正副会長会議
- 5月26日(金) 桔梗塾開始
- 5月 1日(金) 正副会長会議
- 5月15日(金) 監査会/理事会
- 5月16日(土) 定期総会広告掲載
- 5月30日(土) 定期総会/書道部パフォーマンス/懇親会
- 6月 5日(金) 朝日支部総会
- 6月16日(火) 支部長会議/懇親会
- 6月22日(月) カリフォルニアワイン研修激励会
- 6月26日(金) 北信越大会・全国大会出場激励会
(剣道・少林寺拳法・体操・自転車)
- 7月 9日(木) 第1回会報編集委員会
- 7月10日(金) 桔梗祭準備/作品展示
- 7月11日(土) 桔梗祭同窓会コーナー開設
桔梗塾運営委員会
- 7月12日(日) 桔梗祭同窓会コーナー開設/片付け
- 7月21日(火) 会員名簿修正委託
- 7月28日(火) 桔梗祭慰労会
- 8月27日(木) 第2回会報編集委員会
- 8月28日(金) 東海大会、国体出場激励会
(体操・吹奏楽)
- 9月 4日(金) 親睦ゴルフ大会 (38名参加)
- 9月24日(木) 第3回会報編集委員会
- 10月 8日(木) マレットゴルフ大会 (26名参加)
- 10月25日(日) 支部対抗ソフトバレーボール大会
- 11月 7日(土) 東京支部総会
- 11月11日(水) 会報配布/支部組織強化巡回
- 11月14日(土) 女性部研修会 (31名参加)
- 11月17日(火) 会報配布/支部組織強化巡回
- 11月28日(土) 東海支部総会
- 12月13日(日) 歴代生徒会長・ルーム長合同会議
- 12月15日(火) 桔梗会館定期清掃/会報配布/
支部組織強化巡回
- 12月21日(月) 学校長・同窓会役員懇親会
- 2月20日(土) 山形支部総会
- 2月26日(金) 昭和35年度卒業生同窓会役員会
- 3月 1日(火) 大門支部へ会報送付/役員会
- 3月 3日(木) 少林寺拳法部全国大会出場激励会
昭和35年度卒業生同窓会
- 3月 4日(金) 同窓会入会式
- 3月 5日(土) 卒業式 (記念品・皆勤賞贈呈)
- 3月10日(木) 米窪校長送別会
- 3月19日(土) 神林支部総会
- 3月22日(火) 教職員送別会
- 3月29日(火) 役員会

❖ 平成 27 年度 塩尻志学館高等学校同窓会一般会計決算書 ❖

(平成 27 年 4 月 ~ 平成 28 年 3 月)

1 総括		収入総額	4,506,560	(単位:円)
		支出総額	3,007,328	
		差引残高	1,499,232	

2 収入の部	科 目	予算額A	収入額B	増減 B-A	備 考
	1. 入会金 (入学時)	1,215,000	1,190,000	△ 25,000	5,000円×238名
	2. 入会金 (卒業時)	1,215,000	1,185,000	△ 30,000	5,000円×237名
	3. 雑収入	400	121	△ 279	貯金利息
	4. 運営費	1,000,000	629,757	△ 370,243	運営負担金
	5. 繰越金	1,501,682	1,501,682	0	
	小 計	4,932,082	4,506,560	△ 425,522	

3 支出の部	科 目	予算額A	支出額B	増減 B-A	備 考
	1. 総会費	150,000	121,798	28,202	総会及び懇親会補助、書道パフォーマンス
	2. 会議費	150,000	122,856	27,144	三役会、役員会補助
	3. 旅費	100,000	115,110	△ 15,110	三役会、役員会、支部総会派遣等
	4. 通信費	300,000	306,355	△ 6,355	送料、NTT利用料、振込手数料
	5. 事務費	150,000	115,110	36,623	事務用品、消耗品他
	6. 人件費	500,000	314,000	186,000	事務職員給与
	7. 慶弔費	100,000	62,184	37,816	職員経別
	8. ホームページ運営費	50,000	12,960	37,040	ホームページ更新
	9. 名簿管理費	60,000	21,384	38,616	新会員加入・異動事項等更新
	10. 会報発行費	450,000	357,707	92,293	第26号会報、印刷費、送料
	13. 支部助成費	200,000	45,000	155,000	支部総会、運営費還元金
	14. 女性部助成費	200,000	204,281	△ 4,281	活動補助
	15. 事業費	200,000	229,382	△ 29,382	桔梗祭、各スポーツ大会、支部長会議他
	16. 生徒助成費	800,000	486,160	313,840	クラブ活動補助、ワイン研修等
	17. 生徒記念品費	250,000	164,040	85,960	卒業記念証書入れ、皆勤賞
	20. 桔梗塾運営費	250,000	200,000	50,000	桔梗塾補助
	21. 会館管理費	150,000	130,734	19,266	桔梗会館クリーニング
	23. 周年事業積立	0	0	0	
	24. 予備費	872,082	0	872,082	
	小 計	4,932,082	3,007,328	1,924,754	

平成28年5月9日 今井英雄・中村 宏 両監事による会計監査の結果、適正に処理していると認められました。

❖ 平成28年度 塩尻志学館高校同窓会年間事業計画 ❖

- 1、 今年度の基本方針
 会員相互の向上と親睦を図り、母校発展に寄与する。
 - 2、 平成28年度事業計画
 - 1) 母校の教育・クラブ活動の充実、発展を図るための助成を行う。
 - 2) 支部組織強化を図る。
 - 3) 各支部間の交流と親睦を深めるため、ソフトバレーボール大会・ゴルフ大会・マレットゴルフ大会を行う。
 - 4) 学校・PTAなどとの協体制を整える。
 - 5) 桔梗祭に同窓会コーナーを設け会員の作品を展示する。
 - 6) 会員の研修視察を行う。(県内予定)
 - 7) 同窓会報 第27号を発行する。
 - 8) 平成28年度卒業生の同窓会入会式を行う。
 - 9) 平成28年度卒業生に卒業記念品・皆勤賞を贈る。
 - 10) 同窓会ホームページの活用を図る。
 - 11) 同窓生名簿の整理・管理を行う。
 - 12) 桔梗塾を運営する。
 - 13) カリフォルニアワイン研修の助成を行う。
 - 14) 総合研究発表会の助成を行う。
 - 15) その他、同窓会の目的達成のため必要と認められる事業を行う。
- ※ 正副会長会、役員会は必要に応じて開催する。

5月29日(日)	定期総会(中信会館)
6月17日(金)	支部長会議開催
7月9~10日(土・日)	桔梗祭同窓会コーナー
9月2日(金)	親睦ゴルフ大会
10月1日(土)	第27号同窓会報発行
10月3日(月)	親睦マレットゴルフ大会
10月23日(日)	支部対抗ソフトバレーボール大会
11月19日(土)	研修視察(県内予定)
3月2日(木)	同窓会入会式
3月3日(金)	卒業式(記念品・皆勤賞贈呈)

❖ 平成28年度 塩尻志学館高等学校同窓会一般会計予算書 ❖

(平成28年4月~平成29年3月)

		単位:円			
1 総括	区 分	本 年 度	前 年 度		
	収入予算額	4,919,500	4,932,082		
	支出予算額	4,919,500	4,932,082		
	差引残高	0	0		

2 収入の部	科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
	1. 入会金(入学時)	1,205,000	1,215,000	△ 10,000	5,000円×241名
	2. 入会金(卒業時)	1,215,000	1,215,000	0	5,000円×243名
	3. 雑収入	268	400	△ 132	貯金利息他
	6. 運営費	1,000,000	1,000,000	0	運営負担金
	7. 繰越金	1,499,232	1,501,682	△ 2,450	
	小 計	4,919,500	4,932,082	△ 12,582	

3 支出の部	科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
	1. 総会費	150,000	150,000	0	総会、懇親会補助、イベント料
	2. 会議費	150,000	150,000	0	三役会、役員会補助
	3. 旅費	100,000	100,000	0	三役会、役員会、支部総会派遣等
	4. 通信費	300,000	300,000	0	送料、NTT利用料、振込手数料
	5. 事務費	150,000	150,000	0	事務用品、消耗品他
	6. 人件費	500,000	500,000	0	事務職員給与
	7. 康希費	100,000	100,000	0	職員健別、お見舞い
	8. ホームページ運営費	50,000	50,000	0	ホームページ更新
	9. 名簿管理費	60,000	60,000	0	H27年度卒業生名簿整備、名簿修正
	10. 会報発行費	450,000	450,000	0	第27号会報、印刷費、送料
	13. 支部助成費	200,000	200,000	0	支部総会祝い金、還元金
	14. 女性助成費	200,000	200,000	0	活動補助
	15. 事業費	230,000	200,000	30,000	桔梗祭、各スポーツ大会、支部長会議他
	16. 生徒助成費	850,000	800,000	50,000	クラブ活動補助、ワイン研修等、図書購入
	17. 生徒記念品費	250,000	250,000	0	卒業記念証書入れ、皆勤賞
	20. 桔梗塾運営費	250,000	250,000	0	桔梗塾補助、教材備品
	21. 会館管理費	150,000	150,000	0	桔梗会館クリーニング
	23. 周年事業積立	0	0	0	
	24. 予備費	779,500	872,082	△ 92,582	
	小 計	4,919,500	4,932,082	△ 12,582	

同窓生の活躍

農業・農村・JAの情勢



塩尻市農業協同組合
代表理事理事長

西村 泰博

現在、我が国では人口の減少と超高齢化社会の到来によって、農業者も減少・高齢化しています。そのため農業生産基盤の急速な脆弱化が進み、農村の形態が変わってきています。また4月には農協法・農地法等の改正によって、農業の成長産業化を図るために、6次産業化や海外輸出、農地の集積・集約化等の政策を活用する環境を整備することとなりました。

一方、昨年10月にT P P協定の大筋合意がなされ、政府・与党で「総合的なT P P関連政策大綱」が決定されました。この協定による将来への影響は農業に大きな打撃を与えるだけでなく、食の安全・安心、医療や保険、I S D条

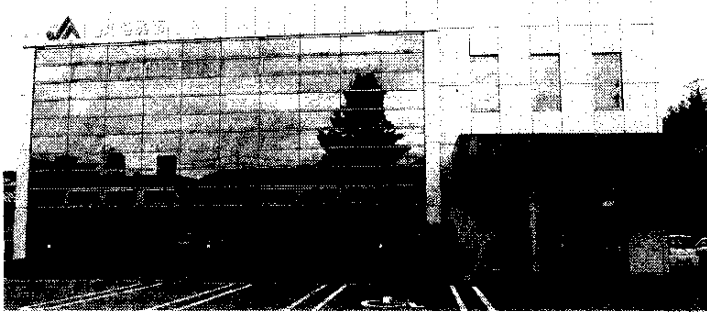
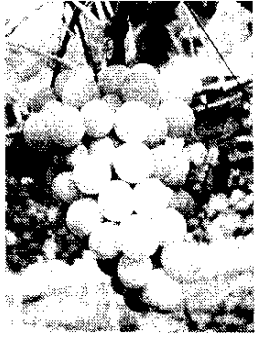
項など21分野にわたり、私たちの生活全般にかかわる大きな問題であります。この秋の臨時国会ではT P P協定の承認と関連法制度に関する審議が行われます。米国の大統領候補者二人は反対を明確に表明しているのに、日本政府はなぜ批准を急ぐのか全く理解できません。

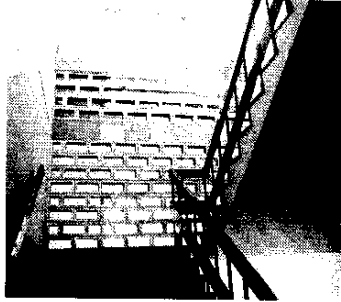
このように農業・農村・JAを取巻く環境は大きな転換期を迎えています。これらを踏まえてJAグループとしては、農業・地域振興、農業・農村の多面的機能の發揮に重要な役割を果たし続けるために、これからの目指す姿、あるべき姿である「食と農をおこし、一人ひとりの笑顔が生まれる地域

をみんなで実現します」というビジョンの実現に向け、農業所得の増大と地域の活性化に貢献し、地域の皆さんからJA事業の重要性をご認識いただけるよう取り組んでいます。

最後に本校出身の多くの農業者・JA役員が、地域の産業である農業の振興と維持に取り組む、また地域の活性化と発展に努力しています。在校生も含め本校出身者のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

昭和43年卒 西村 泰博
塩尻市農業協同組合
常務理事 二期
専務理事 一期
代表理事理事長 現在



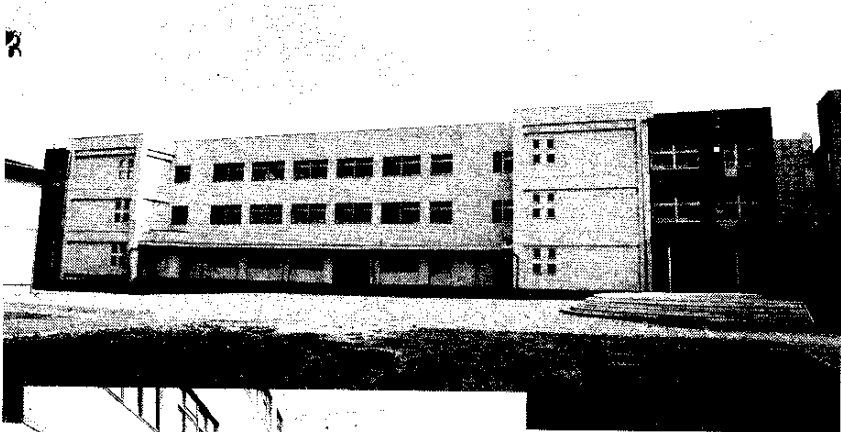


思い出の第二棟（東階段）も・・・

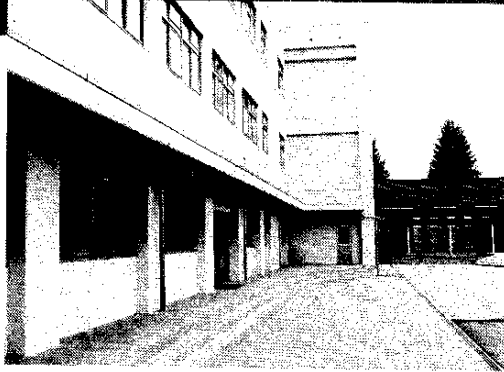


解体作業中の旧校舎

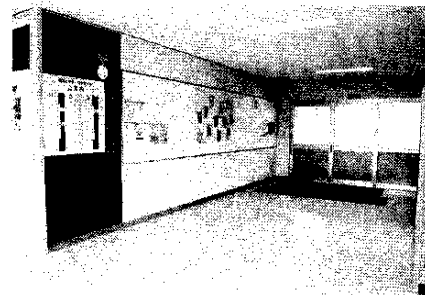
第二棟が新しくなりました



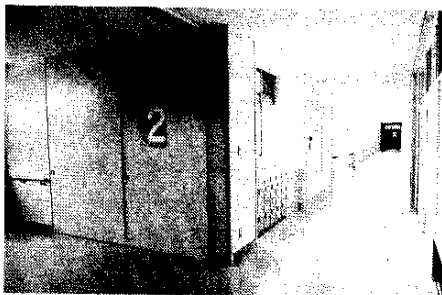
第二棟完成



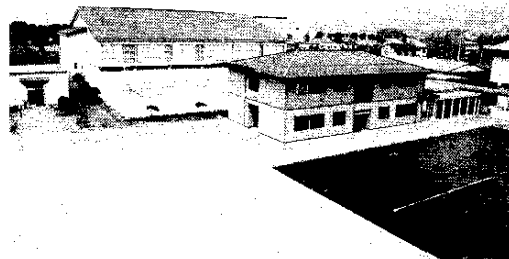
新校舎から中庭へ



広い出入口



明るい廊下



窓から見た大体育館・プール・運動部室棟

平成27年度 第14期生 進路合格状況

国立大学 7名

大 学	学 部	現役	既卒
信州大学	教育	1	
	人文	1	1
	農	1	
会津大学	コンピュータ理工	1	
秋田大学	国際資源	1	
東京外国語大学	言語文化		1
福井大学	工学部	1	
鳥取大学	地域政策	1	

私立大学 76名

大 学	学 部	現役	既卒
佐久大学	看護	2	
松本大学	人間健康	9	
	総合経営	9	
諏訪東京理科大学	経営情報	3	
清泉女学院大学	人間	1	
長野大学	社会福祉	1	
つくば国際大学	医療保健		1
健康科学大学	看護	1	
山梨英和大学	人間文化	1	
山梨学院大学	現代ビジネス	2	
	法	1	
新潟医療福祉大学	医療技術	2	
	健康科学	1	
金沢工業大学	環境・建築	1	
駿河台大学	心理	1	
城西大学	経営学部	1	
日本医療科学大学	保健医療	1	
神奈川大学	法	1	
明海大学	ホスピタリティ・リズム	1	
駒沢女子大学	人文	1	
女子美術大学	芸術	1	
昭和音楽大学	音楽	1	
専修大学	文	1	
	経済	1	
大正大学	法学	2	
	文	1	
玉川大学	教育	1	
	芸術	1	
	農	1	
帝京科学大学	医療科学	1	1
東海大学	海洋	1	
	工	1	
東京家政大学	家政	1	
東京経済大学	経営	1	
東京農業大学	生物産業	1	
東洋大学	経済	2	
二松学舎大学	文	1	
法政大学	キャリアデザイン	1	
立正大学	地球環境科学	1	

大 学	学 部	現役	既卒
愛知学院大学	総合政策	1	
	文	1	
岐阜経済大学	経営	1	
中部大学	生命健康		1
東海学園大学	健康栄養	1	
日本福祉大学	子ども発達	1	
	社会福祉	1	
名城大学	外国語	1	
	都市情報	1	
	薬	1	
四日市看護医療大学	看護	1	
京都嵯峨芸術大学	芸術	1	
京都外国語大学	外国語	1	
阪南大学	経済	1	
奈良大学	文	1	
立命館大学	文	1	1

短期大学 公立6名、私立38名

長野県短大3(英、日、幼教)、大月短大3(経済)
 飯田女子短大1(家政)、上田女子2(絵文、幼教)、信州豊南
 短大5(言語1、幼教4)、清泉女学院2(幼教)、松商短大9
 (経営3、商6)、松本短大13(看護3、介護5、幼保
 5)、青山学院短大1(国際)、川口短大1(ビジ)、名古屋女
 子短大1(生活)、山梨学院短大2(栄養、保育)

専門学校 84名

信州上田医療センター付属看護、諏訪赤十字看護、諏訪中央
 病院看護2、松本看護2、信州リハビリテーション、長野医療
 衛生、松本医療福祉、松本歯科大学衛生学院2、大原学園松
 本校5、未来ビジネスカレッジ4、松本技専、農業大学校3、
 林業大学校、南信工科短大、長野美術2、松本調理師製菓
 師、松本理容美容4、愛生会看護、北里大学保健衛生、国際
 医学技術、新宿鍼灸柔整歯科衛生、星城大学リハビリ、東海
 医療技術、名古屋医健スポーツ、新潟医療技術2、ESP、
 JAPANサッカーカレッジ、wish国際ホテル・ブライダル、アート
 アニメーション小さな学校、青山製図、イングリッシュ・サンタ
 モニカ、エコール辻東京3、エスベランサ靴学院、国際製菓
 技術、国際製菓、国際ホテル・ブライダル、修成建設、尚美
 ミュージックカレッジ、ビジョナリーアーツ、中央工学校、東京
 環境工科、東京観光、名古屋美容、新潟農業・バイオ、日本
 工学院、日本工学院八王子、日本デザイナー学院、日本福祉
 教育、東放学園3、ヒコ・みづの・ジュエリーカレッジ、ビ
 ジョナリーアーツ専門学科、ヤマハ管楽器テクニカルアカデミー、横
 浜リゾート&スポーツ2、レコールバンタン

就職 公務員3名、民間企業15名

国家3種、自衛隊、長野県警察、アルプス、カンロ、グレイ
 スフル、井上、井筒ワイン、小松電気設備、小林会計事務
 所、清水歯科医院、東海西濃運輸、日本連合警備、セイコー
 エプソン、日本郵政、メルシャン

生徒の活躍

北信越大会成績報告



・柔道部

女子個人——窪堀瑛楽 5位

・剣道部

女子個人——安田彩乃 3回戦進出

中原有紀子 3回戦進出

・陸上部

女子ハンマー投げ——決勝 佐藤奈々 15位 (記録 21m17)

決勝 荒井葵風 8位入賞 (記録 34m15)

女子円盤投げ——決勝 荒井葵風 21位 (記録 28m09)

男子200m——予選5組 木村幸太 5位 全体15位 (記録 22秒47)

・弓道部

男子団体——予選各自8射×5 計40射 決勝トーナメント各自4射×5 計20射

予選27中で決勝進出、決勝トーナメント 第3位入賞

個人戦——予選敗退

8月1日～6日 鳥取県にてインターハイに出場予定

・少林寺拳法部

男子組演武——工藤未来、斉藤昌昭組 決勝得点 246点

女子組演武——関根真澄、百瀬麗組 決勝得点 237点

女子単独演武——三村麻衣子 決勝得点 228点

7月29日～8月1日 岡山県にてインターハイに出場予定

・体操部

男子団体(体操)——第5位 (メンバー：小林風馬、武田浩輝、丸山光星)

男子個人(新体操)——丸山光星 個人総合5位 (種目別：ロープ5位、リング5位)

小林風馬 個人総合15位

女子個人(体操)——小林花帆 個人総合12位

8月3日～5日(体操)、8月10日～11日(新体操) 高根県にてインターハイに出場予定

2016年8月19日

インターハイ成績報告

・体操部

男子個人(新体操)——丸山光星 個人総合22位 (種目別：ロープ20位、リング22位)

(体操)——小林風馬 個人総合 予選185位 (予選落)

女子個人(体操)——小林花帆 個人総合 予選129位 (予選落)

・弓道部

男子団体——予選敗退 (20射9中)

・少林寺拳法部

女子組演武——関根真澄、百瀬麗組 予選敗退

女子単独演武——三村麻衣子 予選敗退

生徒の様子

生徒会

生徒会の活動

三年五組 山崎 涼

今年の文化祭は、旧校舎が解体されずにそのまま残っている状況の中で、中庭企画や模擬店会場の確保のためのスペースに限りがあったため、どの場所を中心として盛り上げていくかが一番の悩みでした。結局1ヶ月前に、工事によって土だけになっていた中庭に芳草シートを張り、模擬店や中庭企画を置く事で、文化祭企画の中心にする事になりました。しかし、旧二棟解体工事を避けるため、長い渡り廊下があり、一棟にお客様が来ないのではないかとということもまた、心配の種でした。

そこで、2年生、3年生や、部活動などの多くの展示発表を用意



し、全校製作を1棟の校舎外に設置する事にしました。こうしたことは一部で、他にも本当に多くの課題が私達に毎日のようにぶつかってきて、その課題を一つ一つ丁寧に役員全員で解決し、乗り越えてきました。そして、全校生徒の協力のおかげで、テーマである「紅蓮」情熱の華を咲かせよう」に沿った文化祭にできたと思っています。

大変でした。しかし、文化祭を通して、私たちは様々なことを経験し大きく成長できたと思います。この経験を必ず次の塩尻志学館高等学校を担う世代へと引継ぎたいと思っています。

イラスト文芸部

イラスト文芸部と

愉快的仲間たち

三年四組 中野 結美子

私たちイラスト文芸部は今年、三年生8名、二年生3名、一年生6名の合計17名で活動しています。活動は主に、部誌を発行したり、リレー小説を書いたり、のんびりゆったりとマイペースに作品を作っています。その中で唯一、部員みんなが追い詰めながら取り組んだのが文化祭です。迫る締め切り、集まらない原稿、進まないタイピング、重なる定期テスト。みんな、頑張りました。その甲斐あって、無事に今年も文化祭で部誌を発行し、作品を発表することができて、嬉しく思います。

互いに作品について言葉をお互いに交わし、自分の作品が評価される経験を通して、創造する楽しさを部員一同、



改めて感じました。部誌を作成する中で苦労もありましたが、学年関係なく協力し、問題解決に取り組むことで、一層仲良くなれた気がします。

顧問の降旗先生をはじめ多くの先生方に優しく見守っていただき、感謝しかありません。

来年はもっと素晴らしい作品を後輩たちが作り上げてくれると信じています。



美術部

美術部の活動

三年四組 印牧 侑紀

現在、美術部は三年生7名、二年生2名、一年生10名の計19名で活動しています。

活動は主に放課後毎日行っていて、個人個人での油絵・アクリル

画・デッサン・立体造形などの作品制作に取り組み、現在は10月に松本市で開催される学生美術展に向けた作品を作成中です。

地域の活動では、昨年は塩尻市で開催されたハッピーハロウィーンのお化け屋敷のデザイン・装飾・運営や広告などを初めて担当させていただきました。地域の活動に、美術面で活躍できたことで、大きな達成感や充実感を感じることができました。今後は塩尻市えんばーくなどで美術部の学生の活躍の場を増やしていきたいと考えています。

私たちの学校は、充実した設備や信頼できる講師の先生方に美術を教えていただけてとてもいい環境があると自負しております。そのことを「当たり前」と思わずに、日々、部員全員が感謝の心を持ち、自身の画力や技術の向上に努めていくことを今後も継続し、先輩方から受け継いだ美術部を後世にも引き継いでいきたいと思っています。

野球部

志学館

Family

三年一組 中嶋 陸

私たち野球部は、選手23名、マネージャー5名の計28名と、4名の顧問の先生で活動してきました。今年度から監督が横川先生に代わり、最初は戸惑うこともありましたが、部員一人一人との面談や野球ノートでのやりとりをすることで距離も縮まったと思います。

私たちの練習メニューは、課題を元に考えます。練習とは「チーム・個人の力を向上し試合に勝つための準備」と捉え取り組んできました。チームの目標は「選手権大会ベスト8」で、バッティングに力を入れ「打ち勝つ野球」を目指してきました。

選手権大会の結果は、3回戦敗退に終わりましたが、3試合で32得点し、自分たちの「打ち勝つ野球」が出来たと思います。



チームのスローガンの「志学館Family」夢に向かって、志で勝つ」の様に後輩たちやその下の代も「志学館Family」となつて目標に向かって志高く野球をしてほしいと思います。

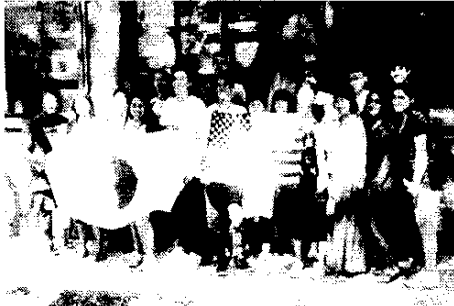


ワイン学習

カリフォルニア

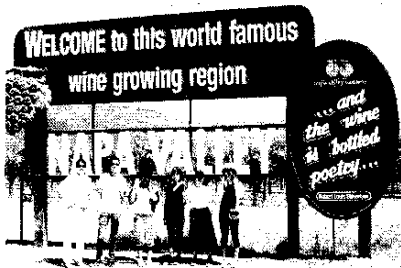
ワイン研修

引率職員 都筑 勝
農業科



セントヘレナ高校との交流

今年の研修は、8月26日〜9月2日の8日間で実施され、生徒達も初めての渡米となります。研修地は世界的なワイン産地であるナパ及びソノマのワイナリー視察が



NAPA ワイナリー視察

主軸となりました。生徒達は青空市場で販売されているカリフォルニア産の果物を食べたり、ワイン用ブドウの糖度測定や食味調査を通して、素材の質の高さを感じ取ったようです。質の高いワインは質の高いブドウから生産されると言われますが、素晴らしいブドウが生産されていることに驚きを感じました。さらに広大なブドウ畑や施設を見学することで、アメリカのワイン産業の規模を感じ、優れた醸造施設、周囲の観光資源の豊富さ、気候風土・環境の良さなど多くを学ぶ機会となりました。また本校同様、醸造科を設置するセントヘレナ高校との交流会も行われるなど、思い出に残る研修と



RAVENSWOOD (ワイナリー視察)

なりました。視察したワイナリーは、各社独自の魅力を育て上げ、それぞれのブランドを育む尋常ならざる努力があり、またそれらが観光資源として複合的に宣伝されている一体感を感じました。これは本校が取り組んできた産学官連携においても、深く共通するところが多いように感じます。視察したワイナリーの詳細な報告は、折に触れ発表していきたいと思えます。またカリフォルニアワイン研修の実施に関わり、多大なるご支援・ご協力を賜りました同窓の皆様から感謝申し上げます。

ありがとう

じゅんました。

三年二組 関根 真澄

アメリカは本当に土地が広く、町の建物も素敵で、全てが絵になるような感じでした。そんな夢のような数日間の研修に参加したことで、私はとても大きな財産を得ることができたと思っています。アメリカの高校生はみんな堂々としていました。現地の高校に行くと交流会にも参加しましたが、明るく陽気で本当に自由な感じでした。それはまるで、小さなことは気にすると言っているように思えたのです。くよくよしているのはコミュニケーションもとれませんが、私はこの研修を通じて、もっと自分に自信を持つて生きていきたいと思えるようになったのです。私は、米年の春から市内のワイナリーで働くことになっています。この研修の経験を活かして、これからの私がすべき仕事に自信を持って向かっていきたいと思っています。本当に有難うございました。頑張ります。

第三種郵便物認可

信濃毎日新聞

第 4 部

「主権者」として

①

大人への一歩

塩尻志学館高校から 23

政治・社会関心芽生え

「長野県の投票率は全国何位だったか知っていますか。何と一位ですよ。」

塩尻志学館高校（塩尻市）の鈴木賢先生（59）は13日の政治経済の授業で、10日投開票の参院選の投票率が62・86%となり、全国選挙区でトップだったことを紹介した。「えー」。出席した3年生14人がじよめいた。

一方、全国市区町村の投票所を総務省が抽出調査した10代の投票率は45・45%と、全体の投票率（54・70%）を下回った。鈴木先生は「全国的に見ると、意識を持っている10代はまた多くない」と説明。この先、衆院選や憲法改正の国民投票の機会が巡ってくるかもしれないとし、こう呼び掛けた。「自分で考えて判断し、行動する力を高校時代に身に付けてください」

選挙権年齢を18歳以上に引き下げて初めて迎えた今回の参院選。県内では多くの高校生が模擬投票に臨んだり実際の投票所で立会人を務めたりし、政治や選挙に触れる機会はそれ以前に比べてぐっと増えた。塩尻志学館高校でも投票という「一歩」を踏み出した生徒たちは、「次の一

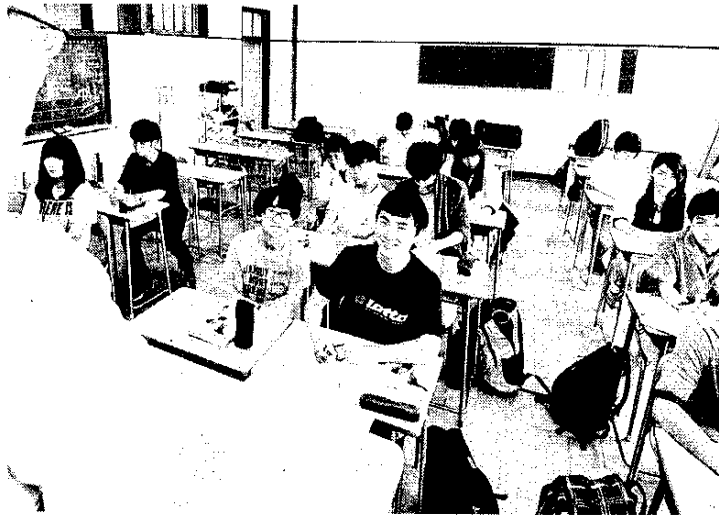
「自分で考え行動」育む場を

歩」を考え始めている。

「こういふ社会にしたいのか、自分なりのビジョン（願望）が明確じゃないと、投票先を選ぶのは大変」。3年3組の木村祐太さん（18）

松本市は、日頃から政治や社会に幅広く興味を持つ必要があると感じた。3年1組の齋由加子さん（18）

松本市は、初めての投票を機に「政治家の仕事ぶりを見続けたい」といけなく、日頃から政治や社会に幅広く興味を持つ必要があると感じた。3年5組



参院選の投票率について、鈴木先生（手前）の話を聞く生徒たち＝13日、塩尻市の塩尻志学館高校

の斎藤之さん（18）松本市は「候補者は選挙前には耳障りの良いことしか言わない。日頃から偏りのない情報を仕入れることが大事」と思った。「いろいろな情報を見て、照らし合わせていくしかないのかな」と考えている。

それぞれの生徒に芽生えた関心をどう育むか。鈴木先生は「政治、経済、国際的な問題を学ぶことは必要だけれど、主権者になるためには、それだけでは十分でない」と考える。クラス、生徒会、家庭、地域……。さまざまな場所で、生徒たちが主体的に考えて判断する経験を積み重ねる必要がある。市村勝巳校長（57）は、学校もそのための「場面づくり」を積極的にしたいと思い描く。

「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によってこれを保持しなければならない。国民主権を定めた憲法は、12条このようにうたう。投票日だけの「有権者」から、日常的に政治や社会の多様な問題を見つめ、自分のこととして捉えて行動できる「主権者」へ。若者たちの歩みは、始まったばかりだ。

（大人への一歩 塩尻志学館高校から）
（文）写真・西原菜穂、写真・米川真哉

同窓会運営費納入のお願い

同窓会活動は、定期総会をはじめ、ゴルフ・マレットゴルフ・ソフトバレー大会や研修視察、会報の発行などの事業を行い、会員相互の交流と親睦を図っているほか、在校生の皆さんが北信越大会や全国大会などに出場するときの激励、総合学科ならではの様々な発表会での経費補助や支援活動などを行っています。

また、毎週土曜日に母校が開講している進学希望者のための補習授業『桔梗塾』は、運営上の必要経費を同窓会とPTAが協力して支援し、大きな成果を上げつつあります。この支援活動は、母校の教育活動を支えて行く上で、今後さらに重要な意味を持つようになるものと考えます。しかし現状は、少子化による生徒数の減少に伴い、同総会の運営費も大変厳しい状況となっております。是非、会員の皆さんの深いご理解をいただき、運営費の納入にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本年度から支部組織の強化を図るため、昨年の実績（協力体制等）を勘案する中で、支部総会を実施した場合に、支部に対して助成金を交付することになっています。

【同窓会事務局】・所在地 〒399-0703 長野県塩尻市大字広丘高出4-4
☎・FAX 0263-53-8069 (連絡は火曜日午後・不在時は学校事務室52-0015)
メールアドレス / ssd100@violet.plala.or.jp
ホームページ / <http://www7.plala.or.jp/ssd100/>
郵便払込口座 / 00530-1-101170 長野県塩尻志学館高等学校同窓会

クイズ

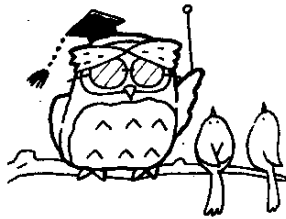
今回は、校歌の歌詞について。

では、・・・。

1番の歌詞に、

『とりよろう あおがきや』とありますが、この『あおがき』の意味を次の中から選んでください。

- ① 周囲を囲む山々のこと。
- ② 鳥が喜ぶ青々とした垣根のこと。
- ③ ブドウのこと。(昔は『あおがき』と呼んでいた。)



答え ①

編集後記



今年の総会で、長年同窓会長をしていただきお世話になった小松前会長から、中野新会長にバトンタッチされ新体制となりました。編集委員会には、同窓会役員の皆さんと一緒に参加していただき、和気あいあいと情報交換しながら編集をしています。また、先生方から生徒さんの活躍の様子をお聞きするのも楽しみです。各支部や会員の皆様の活動の原稿も常時募集しております。また、同級会等開催の時は一報いただき、会報の配布もいただけると幸いです。情報やご協力をお待ちしています。よろしくお願ひ致します。

編集委員氏名

- 編集委員長 丸山寿子 (53年卒)
- 委員 島山 伸 (44年卒)
- 委員 手塚真次 (52年卒)
- 委員 赤羽敬子 (53年卒)
- 委員 小松嘉山 (61年卒)